

始良・伊佐地域青少年育成だより

第40号発行

始良・伊佐地域青少年育成推進協議会

令和元年11月

899-5212 始良市加治木町諏訪町12

始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係

TEL 0995-63-8109 FAX 0995-63-8108

「令和元年度『家庭の日』絵画・ポスター・標語コンクール」入賞者決定

米澤 若菜（始良市立帖佐中2年）さんがポスターの部で最優秀賞，霧島市立宮内小学校が，優秀学校賞を受賞されました。入賞者の皆さん・指導者の先生方・家族の方々など関係者の皆様本当におめでとうございます。いずれも素晴らしい力作ばかりでした。

県内の入賞作品は，県青少年育成県民会議ホームページでも見ることができます。

部門	賞	学年・種別	氏名	学校名	学年
絵 画	優良賞	小学校低学年	野田 颯真	霧島市立 国分小学校	1
		小学校中学年	唐仁原 せな	霧島市立 日当山小学校	4
		小学校高学年	脇川 隼人	始良市立 重富小学校	5
	努力賞	小学校低学年	本田 琥太郎	霧島市立 国分小学校	1
		〃	村田 幸優	霧島市立 国分小学校	1
		小学校中学年	開坂 晟	霧島市立 国分小学校	3
		〃	今村 成実	始良市立 松原なぎさ小学校	3
		〃	竹之内 莉乃	霧島市立 宮内小学校	4
ポ ス タ ー	最優秀賞	中学校	米澤 若菜	始良市立 帖佐中学校	2
	優良賞	小学校高学年	田之上 由衣	伊佐市立 菱刈小学校	6
		中学校	鶴水 茉侑	霧島市立 日当山中学校	1
	努力賞	小学校高学年	平原 未鈴	始良市立 柁城小学校	5
		〃	万福 陽菜	霧島市立 牧之原小学校	6
標 語	優秀賞	小学校高学年	末松 美羽音	伊佐市立 曾木小学校	6
	優良賞	小学校低学年	東田 ことね	霧島市立 青葉小学校	2
		〃	上村 美千花	湧水町立 轟小学校	2
		小学校中学年	野田 佳輔	霧島市立 国分小学校	4
		〃	税所 優心	霧島市立 小野小学校	4
		小学校高学年	上月 美咲	伊佐市立 湯之尾小学校	6
	努力賞	小学校低学年	有留 琉真	伊佐市立 曾木小学校	1

【優秀学校賞】 霧島市立 宮内小学校

- 始良・伊佐地域内の受賞者の作品が，下記のとおり展示されます。
ぜひ会場に足を運んで，児童・生徒の素晴らしい作品をご覧ください。

会 場：霧島市国分シビックセンター2階多目的ホール

（霧島市国分中央3-45-1）

期 間：令和2年1月10日（金）～23日（木）

作品介绍 絵画の部



「かぞくで トランプをしたよ」
霧島市立国分小1年 野田 颯真



「ゴールまでがんばれカヌー」
霧島市立日当山小4年 唐仁原 せな



「家族みんなで草とり中」
始良市立重富小5年 脇川 隼人



「かぞくで 虫とりにいったよ」
霧島市立国分小1年 本田 琥太郎



「かぞくで 虫とり たのしいな」
霧島市立国分小1年 村田 幸優



「ぼくのお手つだい」
霧島市立国分小3年 開坂 晟



「家族でやき肉楽しいな」
始良市立松原なぎさ小3年 今村 成実



「家族で育てたきゅうり畑」
霧島市立宮内小4年 竹之内 莉乃



「家族みんなでびっしょびしょ」
霧島市立国分小6年 若松 つぐみ

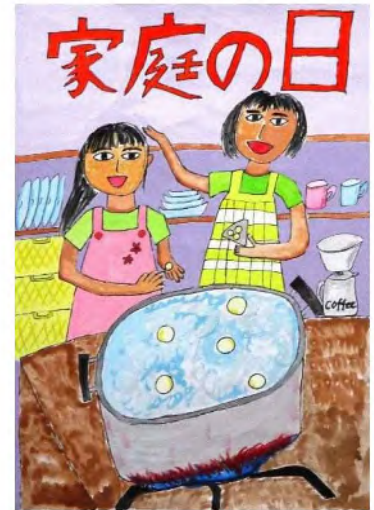
ポスターの部



「家族の日『団らん』」
霧島市立日当山中1年 鶴水 茉侑



「笑顔あふれる自慢の家族」
始良市帖佐中2年 米澤 若菜



「お盆のお団子作り」
始良市立柁城小5年 平原 未鈴



「家族の日」
伊佐市立菱刈小6年 田之上 由衣

【審査員講評】

ほのぼのとした一家団欒の様子を明るい色彩で描かれた作品です。

バランスのよい配置と中学生らしい高い表現技術により、表現したい自慢の家族の温かい雰囲気が伝わってきます。文字の大きさや配置、色彩の工夫など、よく工夫されています。



「思い出はみんなと」
霧島市立牧之原小6年 万福 陽菜

標語の部

優秀賞	テレビ けいたい ゲーム OFF 家族で会話 みんなが笑顔	伊佐市立曾木小学校 6年 末松 美羽音
優良賞	しかられる だけどだいすき じいちゃんばあちゃん	霧島市立青葉小学校 2年 東田 ことね
	のこさずたべる かぞくでつくった おこめだもん	湧水町立轟小学校 2年 上村 美千花
	力こぶ 父をこしたい うでずもう	霧島市立国分小学校 4年 野田 佳輔
	いつまでも なんでも話せる 家族でいよう	霧島市立小野小学校 4年 税所 優心
努力賞	ノーメディア 増える会話が うれしくて	伊佐市立湯之尾小学校 6年 上月 美咲
	うしのせわ かぞくみんなであせながす	伊佐市立曾木小学校 1年 有留 琉真

「県少年の主張」大会



藤田 二誓 (南さつま市立万世中) さん

最優秀賞!!

応募総数3,501点の中から

始良・伊佐地域は本年度は大会参加は無し



「第41回(令和元年度)少年の主張鹿児島県大会」が8月4日(日)に鹿児島県歴史資料センター黎明館で開催されました。3,501点の応募者の中から10人が選考され、本大会に臨みました。残念ながら本地区の本大会参加者はありませんでした。熱弁の結果、南さつま市立万世中学校の藤田 二誓さんが最優秀賞を獲得しましたので御紹介します。

「心豊かな令和を願い」

南さつま市立万世中学校3年 藤田 二誓

いつもより遅い時間に学校を出た日のことだった。駅に行く途中、大通りの交差点横にあるコンビニの駐車場で、その子を見た。夕焼けの下、赤信号がぼあっと明るく見える。パーカーのフードを被り、ジーンズを履いたその小学生くらいの男の子は店の外で1人、カップ麺を食べていた。仕事で家を空けざるを得ない親が、安否確認のために持たせたのだろうか、ジーンズのポケットには、スマホが見えていた。車が行き交うなか、あの子だけが音のない世界にいるようだった。

前例のない10連休が過ぎ、新しい令和の時代がやってきた。私は今年、立志を迎え、15歳になる。立志とは、生きる上での目標、志を立て、それを成し遂げようとする事だ。私は将来、国際交流に関わる仕事に就きたいと考えている。世界中が安心安全な、居心地の良い環境づくりに努めたい。しかし、現在世界の貧困率は上昇し、格差が広がっている。先進国であるこの日本でも、貧困問題は遠い国の話ではない。

平成25年、6月、「子どもの貧困対策に関する法律」が国会で成立した。子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることがないように、できた法律だ。バブル崩壊から急速に、社会情勢の悪化が進んだという。少子化や共稼ぎの増加による生活の変化で、現在の日本の社会が最も見えるのは「食」ではないだろうか。家庭の事情や経済的状況もあるが、大人不在の会話のないただ食べるだけの孤独な食事は、心が貧しくなる。「食」の世界は便利になり、カップ麺や菓子パン、コンビニ弁当、子どもだけで食べられるものに溢れている。皿洗いも、お手伝いも、コミュニケーションもいらない「食」が便利と言われている。これは、もう一つの貧しさではないか。子どもにとって「食」は大人との大切な関わりだ。今日あの子は誰と何をどこで食べるのだろう。

私の住む地域では、高齢化社会を支える子育て世代への経済的支援を図ると共に、子どもたちが健康でたくましく成長することを目的として、学

校給食費の無償化に取り組んでいる。その一方で、この取り組みは給食費未納などの問題を多くの人に知らしめている。私たち世代は、なぜ給食が無償なのか、この給食がどのように作られているのかにもっと関心を持ち、地域が与えてくれた、この貴重な取り組みを次の世代への課題として考えていかなければならない。

都市化が加速し、コミュニティが弱くなるなか、「子どもが1人でも入れると同時に、大人も入っている居場所」として、各地で子ども食堂が運営されている。全国に約3000ヶ所あるという子ども食堂は、地域やボランティアの応援で「食」の格差を埋める支援を行っている。先月、近くの子ども食堂を覗いてみた。そこは

子どもたちの笑顔で溢れていた。日本に貧困の子どもなんて本当にいないのだろうか。実際にこの子ども食堂は、「貧困状態にある家庭向け」では参加し難くなるため、誰もが参加できる食堂づくりを目指している。そうならないければいかに、たくさんの方が食事に来て、食材や資金が足りなくなる。社会貢献をしているという充実感はあるけども、本

当に経済的に支援を必要としている家庭に届いているか疑問を持った。しかし、誰かのために何かをしたいと思っている人が私の周りに沢山いる。そして私もその手伝いがしたい。決して他人事ではなく、1人ひとりに影響する自分事だとわかってほしい。問題が深刻化する前にすべての人が声を上げられる地域社会であるか問いたい。私は、私たちが忘れたことさえ忘れてしまっていることを思い出し問題化することの大切さを伝えていきたい。私たち、これからの未来を担う世代は、常に何事にも挑む心が大切だ。新しい令和の時代を豊かにするために。



「かごしま子どもリーダー塾」参加者の声



令和元年度「かごしま子どもリーダー塾」の集合研修は、8月2日から5日までの3泊4日間に渡り、鹿児島県立青少年研修センター等で実施され、本地区から3名の生徒が参加しました。その参加者の声をレポートします。

私は、「かごしま子どもリーダー塾」に参加してたくさんのお話を学ぶことが出来ました。多数の講師の方々から話を聞いて、今後どのようなリーダーが求められているのか、また、鹿児島の歴史やその他のことも知ることが出来ました。加えて、茶道や自顕流などの普段出来ないような貴重な体験もすることが出来、本当に良かったです。3泊4日の中で、他校の友達と色々な場面で協力し合い、仲良くなることも出来ました。たくさんのお話を持つメンバーと過ごすことで、自分が今まで考えたことがない意見に触れることが出来、自分自身も成長することが出来ました。本当にリーダー塾に参加して良かったです。

大口高校1年 高濱 夏彩

私は、この事業に参加してたくさんのお話を学ぶことが出来ました。

初めは、とても緊張して他の学校の子たちと全く話すことも出来ませんでした。しかし、グループ活動・ペア活動を通して、どんどん打ち解けることが出来るようになりました。また、講師の先生方との授業は、「鹿児島の歴史」や「リーダーとしての心得」などをはじめ、「霧島国際音楽祭の鑑賞」や「茶道」・「国際交流」。さらには、「自顕流の体験」まであり、とても楽しく充実したものでした。夏の研修を終え、私は、今回の「かごしまリーダー塾」で学んだ鹿児島の知識やリーダーとしてあるべき姿などを活かして、未来の鹿児島を背負っていく存在に成長していきたいと思っています。

加治木高校1年 東 悠里花



薩摩切子見学の様子



自顕流体験の様子

私は、このリーダー塾を通して、意見を発表することの大切さを学びました。高崎先生のワークショップで、このことの大切さを知ることが出来ました。この日本には、サイレントマジョリティーが多い。その言葉は、私たち高校生が象徴だと思います。自分と同じ意見の人は多いはずなのに、違いを恐れてしまふ。1対1だと話せるのに、みんなの前では話せない。そんな私たちのことを変えてくれた4日間でした。これから私たちは大人になる過程で、様々な困難があると思います。そんな時は、リーダー塾で心に刻んだ講師の先生方の言葉を思い出し、自分の道を築いて行きたいです。今回、2つの事業に関わった全ての方と共に、未来をより良いものにしたいです。

加治木高校1年 黒川 万英

「かごしま子どもリーダー塾」とは？

鹿児島県青少年育成県民会議が、「自らの『志』に向かって明確なビジョンを掲げ、仲間たちとの集合研修および実践的な体験を重ね、互いに切磋琢磨しながら、自らの行動規範を修得することを基本方針にしながら、次代の鹿児島を担うリーダーを養成するきっかけとする。」ための事業として、「集合研修」「実践活動」「卒塾研修」を行っている。

「集合研修」は、8月2日から3泊4日にわたり、県立青少年研修センターで実施された。

「実践活動」は、9月から11月にかけて、基本的に個人で実施要領に沿って活動計画し、活動する事になっている。

「卒塾研修」は、来年1月12日（日）に県青少年会館で、実施される予定である。



～ 始良・伊佐地域における青少年育成活動～



牧園地区子ども会大会「霧島かるた&国際交流」

～日本に一番近い外国・韓国の事をもっと教えて張(チャン)さん！～

- 1 開催日：令和元年7月23日（火）
- 2 場 所：牧園農村活性化センター
- 3 内 容：霧島かるた，出前講座(韓国語)



上記の日程で「牧園地区子ども会大会」を開催しました。参加者は子どもが30人，保護者・役員が10人の計40人でした。はじめに「霧島カルタ大会」を行い、Aパート(4チーム)・Bパート(3チーム)に分かれ試合を行いました。全員が真剣に取り組んでいました。毎年2月に、「霧島カルタ選手権」がありますが、それにつながるように、「全力で頑張りたい！」と思うことでした。

次に「国際交流」では、霧島市のCIRである韓国のチャンさんが「韓国の文化」について話しました。子どもたちは目を輝かせて聞いていました。特に食べ物や学校のことに興味があるようで、次々と質問をしていました。保護者・役員も楽しそうで、「話を聞いて良かった。」と喜んでいました。

蒲生高校商品開発

0+輪（れいわ）ドーナツ

本校3年生が菓子店と協力し、スイーツ3種類を開発した。令和に0（れい）を輪を掛けた「REIWAドーナツ」などで、「令和元年シリーズ」と名付けた。6月29日午前9時から天文館の「ゆめりあ」で販売実習を行い大盛況。

ドーナツ、サツマイモ味の「かもタルト」、カップ入りティラミスの「ティラかも」で、販売価格は50～200円。



情報処理科で「マーケティング」を選択する生徒が商品アイデアを出し、包装用のイラストを描いた。菓子は霧島市溝辺の「ケーキハウスSin」が製造した。昨年からの同店と共同開発するシリーズの第3弾。

隼人工業高校の地域貢献活動

1 国体カウントダウンボード製作

霧島市の依頼を受け、第75回国民体育大会及び第20回全国障害者スポーツ大会の開催競技のPRと両大会への市民参加の気運醸成を目的とし、両大会開催日までの「カウントダウンボード」を3機製作、電光掲示板を情報技術科、フレームを電子機械科、デザインをインテリア科が担当した。

○ その他地域からの依頼による作品製作

地元からの依頼を受け、各学科の特徴を生かした様々なものを製作している。

作品例：神宮の祭りで使用する竹灯籠、小学校に理科室で使用するスツール30脚、ショッピングセンターのクリスマスシールやハロウィン用写真撮影ボードのデザイン、自動車学校に縦2m×横13mの巨大壁画、霧島市制作の「第二次霧島市総合計画」冊子の表紙デザイン、JAが開発した商品のラベルデザイン 等

2 隼工展の実施

課題研究や実習で製作した作品を披露する「隼工展」を実施しており、地域にも案内し、作品の販売なども行っている。令和元年度で17回目を迎える。また、例年、鹿児島空港ギャラリーでもミニ隼工展と題して作品展示を行っている。

3 隼人駅清掃活動

每学期終業式の日、生徒会と各学級環境美化委員が隼人駅に出向き、駅構内の清掃を行っている。



広大な校区の中 地域で輝く大口中央中生徒

伊佐市立大口中央中学校

大口中央中学校は、平成27年4月1日に、これまでの大口中学校、大口南中学校、山野中学校の3校が統合して開校しました。以来、今年度で5年目を迎えました。本校は、市内9つの小学校から生徒が通学する、実に広大な校区です。ですから、全校生徒の三分の一が6路線あるスクールバスで登校しています。

校区が広いことから、学校一体となって1つの地域と関わることは困難で、本校生徒たちは、出身校区の行事に積極的に参加することにより、一層深く地域に根ざそうとしています。市主催の行事である市民体育祭には、多くの部が参加し、中でも陸上部は大会役員の補助員として運営に携わっています。また、各小学校で開催される運動会には、卒業した生徒が役員の補助員として母校の運動会に参加して、人手不足による運営困難解消に大きく貢献しています。今後も、各地域の行事等に積極的に参加して、地域行事の活性化に貢献出来る最高の形の構築を目指します。また、本校には11の運動部と2の文化部の計13の部があり、充実した活動を展開しています。特に今年度は、陸上部3年生の住吉璃音さんが、100mハードルと走り幅跳びで県大会を制し、国体やジュニアオリンピックなどの選手に選出されました。その他の運動部も女子ソフトボール部が始良・伊佐地区で優勝したのをはじめ好成績を取って、日々の練習の成果を各種大会等で如何なく発揮しています。一方、吹奏楽部は、地域行事や病院等の施設での演奏を依頼され、行事やイベントに華を添えています。今後も部活動に真摯に取り組み、大会等での活躍を目指すだけでなく、地域行事に積極的に参加することで、地域活性化のエネルギー源となる生徒を育成したいと考えています。



小学校の運動会で補助員をする卒業生



チャリティーコンサートでの吹奏楽部の演奏

どんぐりピアノを語り継ぐ大型絵本ついに完成！

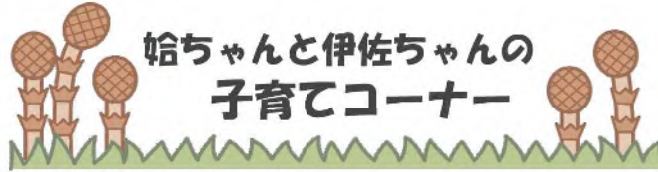
霧島市立三体小学校

霧島市立三体小学校には、「どんぐりピアノ」と呼ばれているグランドピアノがあります。今も、どんぐりピアノはとても美しい、優しい音色を奏でています。プロの演奏にも見事に応えています。昭和29年から現在まで65年間。大切にメンテナンスされ、守られてきたピアノの証です。

平成12年度には、ピアノの逸話と歴史を後世へ継承するために、家庭教育学級生により、大型絵本「ぼくはどんぐりピアノ」が作成されました。本年度には、さらにより多くの皆様方にどんぐりピアノの逸話と三体の教育愛を伝えるため、この大型絵本を元に1000冊の小型絵本に作成し直しました。

霧島は音楽の町です。この絵本をご覧になれば、戦後間もない頃5万本のくぬぎを育て、グランドピアノを買った三体校区の教育愛・音楽愛を感じていただけたらと思います。絵本はCD付きでどんぐりピアノの音やどんぐりピアノの歌も鑑賞することができます。三体小にて1冊1000円で販売しておりますが、益金はすべてピアノのメンテナンスや保存活動へ生かされます。「100年ピアノ」を目標にしておりますので、今後とも「どんぐりピアノ」保存活動への御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。





子どもが「やる気」をもって

自分から取り組むようにするにはどう育てればいいのか？

- 始ちゃん：K子ちゃんの「眼」は自然に向くようになって来ているかな？
- 伊佐ちゃん：ありがとうね！あれから庭の花や、周りの山の様子が良く話題になってますよ。本当に有難う！助かってます！！厚かましいけど、またまた聞いて良いかな？
- 始ちゃん：今度は、何でも言わないとしないし、始めても「やる気」があるのか無いのか？ノラリクラリ…。もう腹がたって！『やる気』あるの？もう少しシャキッとしたさいよ！」
- 伊佐ちゃん：と言うと、「ハイ」と返事はするんだけど、なかなか変わらない状況で…。良い方法はないかな？
- 始ちゃん：伊佐ちゃん。子どもに「やる気」をもたせるには「**将来の夢**」を持たせることが最良の方法みたいだよ！「夢」をもつように「夢」の持ち方を、教えるのが最も良いらしいよ。
- 伊佐ちゃん：ええ！ ということ？ 「**夢をもたせる方法**」ってどう教えれば良いのかな？
- 始ちゃん：伊佐ちゃん、簡単よ！「大きくなったら、どんな仕事をする人になりたい？」と聞けば良いのよ！すると「女優」とか「お医者さん」とか応えるから、素晴らしいね！とまず感心して聞いてあげる。そこで、「なれるはず無いよ！」等余計なことを言わない。
- 伊佐ちゃん：やっぱり！そうなんだ！ 良くそんな話を聞くけど…。私は、K子にほとんど聞いてないわ！思い立ったが吉日！早速K子の「夢」を聞いて実行しないとね！
- 始ちゃん：アッ！そうだ！ 私の恩師が言っていたけど、子どもの「夢」って単なる**あこがれ**が始まりだって！だから出来るだけ有名な人とか、子どもがあこがれそうな人々に会わせるようにすればいいんだって！要するに機会を設定するのよ！
- 伊佐ちゃん：貴女も是非チャレンジしてみたら？ K子ちゃんも乗って来ると思うよ！
- 伊佐ちゃん：分かったわ！大切なことね！！私も**積極的に**やってみるわ！聞いてみるもんだね。
- 始ちゃん：ああ！それからね、常に「夢」を話題することよ！頑張ったら「夢」に近づいたね！と誉め！怠慢の時は、やっぱり「夢」で**終わり**かな？ と言えば良いのよ！

青少年育成コーディネーターが各地域で青少年健全育成に奮闘！！



青少年育成コーディネーターとは？

各市町に配置され、各市町の青少年育成の中核になり、各小学校区青少年育成組織へ健全育成活動の活性化方策をアドバイスしたり、各種青少年健全育成活動をコーディネートしたりするほか、各市町における青少年健全育成に関する現状把握や関係機関・団体との連絡調整を行います。



上記の青少年育成コーディネーターが、霧島市4名、伊佐市・始良市が各2名ずつ、湧水町は1名の合計9名が配置され、上記の通りの活動に目下専念中です。一昨年度の途中からは、青少年育成指導員と一緒に学校訪問もして貰っています。それぞれに自分の仕事や地域の重要な役職を兼務しながら、これからの地域や社会を担う青少年の健全育成活動に大奮闘中です。活動は、もちろんボランティアであり、唯々感謝するしかありません。本当に頭が下がります。この「育成だより40号」を御高覧くださった皆様は、出会われたら是非「有り難うございます！！」と感謝・労いの声かけをお願いします。